



平成28年7月 マンスリー レポート

集計企業数 55 社

① 売上高・前年同月比

	全 店			既 存 店	
	売上高	構成比(前月)	前年同月比(前月)	売上高	前年同月比(前月)
総 額	57,183,571 万円	100.0%	104.3% (102.9%)	54,953,754 万円	102.6% (101.4%)
食 料 品	48,465,458 万円	84.7% (84.3%)	104.6% (103.5%)	46,683,939 万円	102.5% (101.6%)
農 産	7,134,891 万円	12.5% (12.9%)	105.3% (103.7%)	6,872,438 万円	103.0% (101.7%)
水 産	4,736,637 万円	8.3% (7.9%)	102.7% (101.7%)	4,560,256 万円	100.6% (99.9%)
畜 産	5,712,800 万円	10.0% (10.3%)	104.2% (102.9%)	5,491,730 万円	101.8% (100.7%)
惣 菜	5,650,349 万円	9.9% (9.5%)	105.7% (104.1%)	5,412,799 万円	103.0% (101.6%)
日配食品	10,906,693 万円	19.0% (19.0%)	104.8% (104.0%)	10,518,555 万円	102.8% (102.2%)
加工食品	14,324,088 万円	25.0% (24.7%)	104.6% (103.6%)	13,828,161 万円	102.8% (102.0%)
生活関連	3,697,191 万円	6.5% (6.6%)	103.0% (101.4%)	3,583,320 万円	102.9% (100.7%)
衣 料 品	1,765,040 万円	3.1% (3.4%)	103.0% (99.2%)	1,698,709 万円	105.1% (101.0%)
そ の 他	3,255,882 万円	5.7% (5.7%)	101.0% (98.1%)	2,987,785 万円	102.0% (98.8%)

② 数 値

全店総売上高	57,183,571 万円	店 舗 数	4,653 店舗
総売場面積	9,128,960.8 m ²	総従業員数	251,589 人

店舗平均月商	12,289.6 万円	平均客単価 (前年同月比)	1,866.5 円 (101.2%)
月間m ² 売上(前月)	6.3 万円 (5.9 万円)	平均店舗面積	1,962.0 m ²
月間坪売上(前月)	20.7 万円 (19.6 万円)	パート比率(前月)	77.7% (77.8%)

注) 総従業員数…パート・アルバイト数は、8時間換算しています

《 全体概況 》

- ・ 7月の気温は、東日本、西日本は高温だった一方、北日本では寒気の影響を受ける時期があったため平年並みであった。降水量は、東日本太平洋側と東北地方では少なかった一方、九州南部では月の前半に所々大雨となったため、かなり多かった。
- ・ 各地域の梅雨明けは、四国は平年並み、関東・甲信、東北は遅く、その他の地域では早かった。関東甲信は昨年と比較して18日遅い梅雨明けであった
- ・ 昨年と比べ、土曜日、日曜日が1日多く、売上へはプラスの影響を与えた
- ・ 生鮮品の相場状況は、野菜において、葉菜類が品目によりばらつきがあるものの、全般的に安値で推移しているほか、畜産物では和牛等の国産牛肉が引き続き高値で推移した

《 商品動向 》

○ 農産

- ・ 野菜は、「トマト」「ミニトマト」「きゅうり」「ブロッコリー」等のサラダ材料が概ね好調であった一方、相場が安値で推移した「レタス」が不調であった
- ・ 旬の「枝豆」が概ね好調であったほか、薬味需要で「生姜」「みょうが」が売上を伸ばした
- ・ 国産果実は、「ぶどう」「すいか」が好調であった一方、「もも」は好不調が分かれた
- ・ 輸入果実は「キウイフルーツ」「アボカド」が売上を伸ばしている一方、「バナナ」が不調とのコメントが多かった

○ 水産

- ・ 生食関連では「まぐろ」が好調であったほか、「もずく・めかぶ」が好調で「海藻類」が引き続き売上を伸ばしている
- ・ 鮮魚は、入荷不足の影響等で全般的に厳しい販売環境だったが、「あじ」は好調であった

○ 畜産

- ・ 輸入牛を中心に「焼肉用」が売上を伸ばしており、牛肉が堅調であった
- ・ 豚肉は「冷しゃぶ用」が好調とのコメントが多かった一方、豚肉全体では好不調が分かれた
- ・ 低価格帯の「ひき肉」が好調、鶏肉は不調とのコメントが多かったほか、加工肉は売上規模の大きい「ウインナー」や、季節指数が上がる「ハム」が不振で、回復の傾向が見られなかった

○ 惣菜

- ・ 冷やし中華等の涼味麺が好調で「調理麺」が売上を伸ばしたほか、「唐揚げ」が好調であった
- ・ 「やきとり」「枝豆」など、おつまみ提案に取り組んでいる事例が多く、成功している

○ 日配・加工食品

- ・ 気温の上昇に伴い、日配では「涼味麺」「アイスクリーム」「チルド飲料」、加工食品では「乾麺」「つゆ」「飲料」、酒類では「ビール類」など、盛夏商材が好調であった
- ・ 日配では「ヨーグルト」「梅干し」、加工食品では「飲用酢」「麦類」など、メディアで取り上げられた健康、ダイエットがキーワードの商品が引き続き売上を伸ばしている

○ 「土用の丑」について

- ・ 土用の丑、当日が土曜日に当たり、売上面ではプラスへの影響を与えた例が多かった
- ・ 「うなぎの蒲焼」は、国産品が中心の販売であったが、価格高騰により昨年より高単価になったケースが多く、安価な中国産の動きが良かった事例もみられた。「うなぎ重」などの米飯は国産使用を中心に概ね好調であった
- ・ 予約販売は好調とのコメントが多く、特典や価格面の優位さによるお得感から、販売のシフトが見られた

○ 「サマーギフト」について

- ・ 気温の上昇により「ビール」「飲料」「乾麺」「涼味系菓子」などが好調であったとのコメントが多かったほか、地元の品、名店のスイーツなど、新規の取り組みを行い成功した事例が見られた

以 上